

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【公表番号】特表2020-502868(P2020-502868A)

【公表日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-003

【出願番号】特願2019-522425(P2019-522425)

【国際特許分類】

H 04 W 56/00 (2009.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 04 W 56/00 1 3 0

H 04 W 72/04 1 3 6

H 04 W 72/04 1 3 1

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月21日(2020.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信の方法であって、

2つ以上のノード間のワイヤレス通信のために複数の同期信号の配置を決定するステップと、

複数の通信モードのうちのいずれかの通信モードによる送信のために複数の同期信号の前記配置を構成するために、複数の同期信号の前記配置の同期信号間の少なくとも1つのギャップを決定するステップであって、

前記複数の通信モードの各通信モードが、異なる又メロロジーを実装し、

前記少なくとも1つのギャップが、前記ワイヤレス通信のための別の制御信号との、

前記複数の同期信号のいずれかの重複を回避するように、同期信号の前記配置の前記同期信号を構成する、ステップと

を含む、方法。

【請求項2】

前記異なる又メロロジーが、異なるサブキャリア間隔を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記複数の通信モードの前記異なるサブキャリア間隔が、15kHz、30kHz、および60kHzを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

複数の同期信号の前記配置が、前記複数のワイヤレス通信モードで使用されるとき、時間的に固定長を有する、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

複数の同期信号の前記配置の少なくとも1つの同期信号により、複数の同期信号の前記配置の始まりと、複数の同期信号の前記配置を含む通信ブロックの始まりとの間の距離を示すステップ

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

ワイヤレス通信のために構成された装置であって、
2つ以上のノード間のワイヤレス通信のために複数の同期信号の配置を決定するための手段と、

複数の通信モードのうちのいずれかの通信モードによる送信のために複数の同期信号の前記配置を構成するために、複数の同期信号の前記配置の同期信号間の少なくとも1つのギャップを決定するための手段であって、

前記複数の通信モードの各通信モードが、異なる又メロロジーを実装し、

前記少なくとも1つのギャップが、前記ワイヤレス通信のための別の制御信号との、前記複数の同期信号のいずれかの重複を回避するように、同期信号の前記配置の前記同期信号を構成する、手段と

を備える、装置。

【請求項7】

前記異なる又メロロジーが、異なるサブキャリア間隔を含む、請求項6に記載の装置。

【請求項8】

前記複数の通信モードの前記異なるサブキャリア間隔が、15kHz、30kHz、および60kHzを含む、請求項7に記載の装置。

【請求項9】

複数の同期信号の前記配置が、前記複数のワイヤレス通信モードで使用されるとき、時間的に固定長を有する、請求項6に記載の装置。

【請求項10】

複数の同期信号の前記配置の少なくとも1つの同期信号により、複数の同期信号の前記配置の始まりと、複数の同期信号の前記配置を含む通信ブロックの始まりとの間の距離を示すための手段

をさらに備える、請求項6に記載の装置。

【請求項11】

少なくとも1つプロセッサにより実行されると、請求項1乃至5のいずれか1項に記載の方法を実行するための命令を備える、コンピュータプログラム。